

能登谷さんに大臣表彰

民生・児童委員を31年間

昭和49年12月から31年間にわたり民生委員・児童委員を務めてきた能登谷孝人さん

(73)はこのほど、民生委員児童委員功労者として厚生労働大臣表彰から表彰されました。その伝達式は11月30日に市役所で行われ、宮川市長から表彰状と記念品が手渡されました。能登谷さんは「住民から受けた相談を市に連絡し、困りごとを改善できたときはうれしかったですね。活動当初は生活保護世帯の相談がほとんどでしたが、最近が高齢者問題が中心。時代が変



▲宮川市長から表彰状などが伝達されました

わりました」と思い出を話し、受賞の喜びを新たにしています。

暴力追放協が全国功労賞

全国9団体、道内では唯一



▲表彰状を持つ柴門会長(右)

柴門会長は「考えてもみなかった表彰で、うれしいの一言。責任は重くなりましたが、今後も紋別に暴力団事務所を絶対に入れないよう、活動していきたい」と意欲を新たにしています。

同協議会は暴力団排除を目

紋別地区暴力追放運動推進協議会(柴門繁雄会長、会員90人)は11月29日に東京で開かれた平成17年度全国暴力追放運動中央大会で、功労団体として全国表彰されました。全国で9団体、道内では紋別地区が唯一の榮譽あるもの。

した。民生委員児童委員功労者として大臣表彰を受けたのは全国261人で、道内では能登谷さんを含め7人でした。



▲暴力追放の看板で啓発も

的に昭和61年3月に発足。平成18年に20周年の節目を迎えます。発足当初は北見で暴力団抗争事件が連続するなど地域の不安はピークに達していました。同協議会は市内飲食店な

国宝の複製や児童絵画

MOA美術文化展 市民らじっくり鑑賞

内外の美術品を集めた日本有数の美術館・MOA美術館(静岡県熱海市)の収蔵作品

の複製作品や茶道具、児童絵画や書道の全国入選作品など、あわせて約70点を展示するMOA美術文化展「美とのふれあい」が12月1日から3日まで博物館の市民ギャラリーとホールで開催されました(主催＝エム・オー・エー美術文化財団紋別支部)。

尾形光琳作の国宝「紅白梅図屏風」、野々村仁清作の国宝「色絵藤花紋茶壺」、書の名作を集めた手鑑の国宝「翰墨城」(いずれも複製)、またMOAの創始者・岡田茂吉の書や人間国宝・近藤悠三さんの茶碗などが展示され、訪れ

どに対する物品リースの解約などを進め、暴力団の関与を排除してきました。今後も流水まつり会場での啓発など、市民一人一人の暴力追放意識を高めるための活動を推進することにしています。

た人々を美の世界に誘いました。

児童絵画・書道の展示は、MOAが毎年行っている全国展の入賞作品から約30点を集めたもので、いずれも力作揃



▲尾形光琳の国宝の複製に見入る人達